

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第1週[1月4日~1月10日]

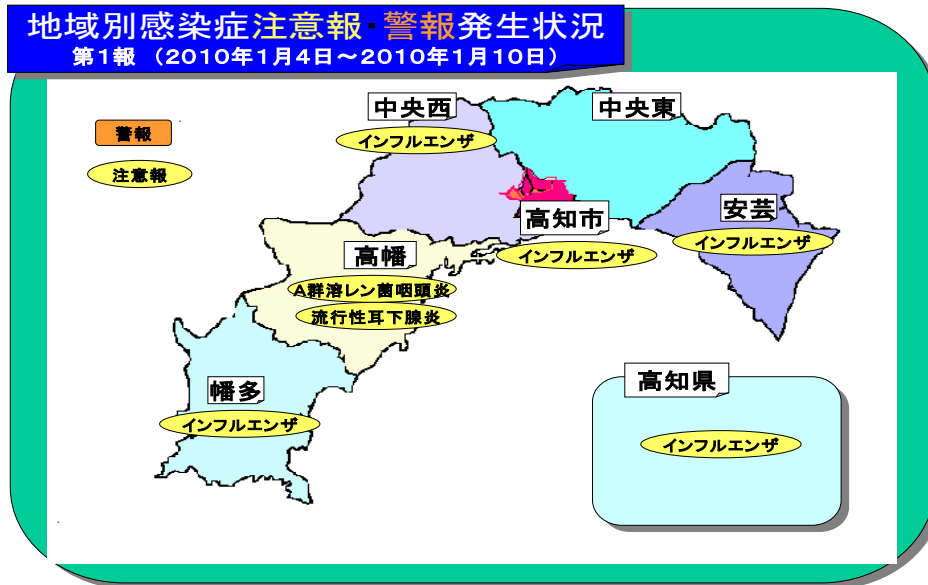
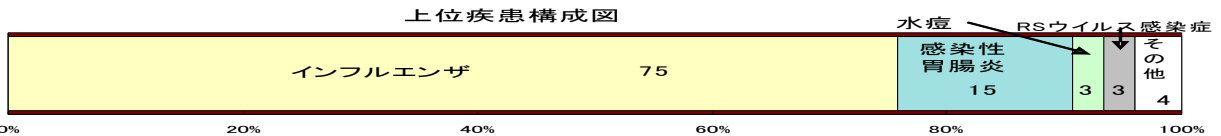
高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
 E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

## 県内情報

### ○ 患者情報総評

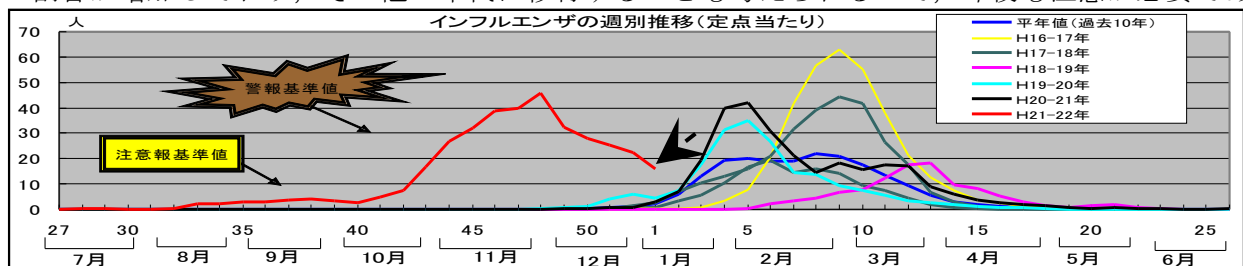
#### 注意報発令疾患：インフルエンザ

- 週を通して天気のいい日が続いたが、最低気温が氷点下となる寒さの厳しい日もあった。
- インフルエンザ（中央西：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報，幡多：注意報→注意報，安芸：注意報→注意報）は中央東と安芸を除く地域で減少し，総数は減少を続けている。
- 感染性胃腸炎は1月9日に今冬シーズン初めて，Norovirusによる集団感染が確認された。
- 水痘は中央西を除く地域で増加し，総数は前週の1.8倍に増加した。例年12月下旬から6月頃まで流行がみられる疾患であるが，今冬シーズンはまだ本格的な流行はみられていない。



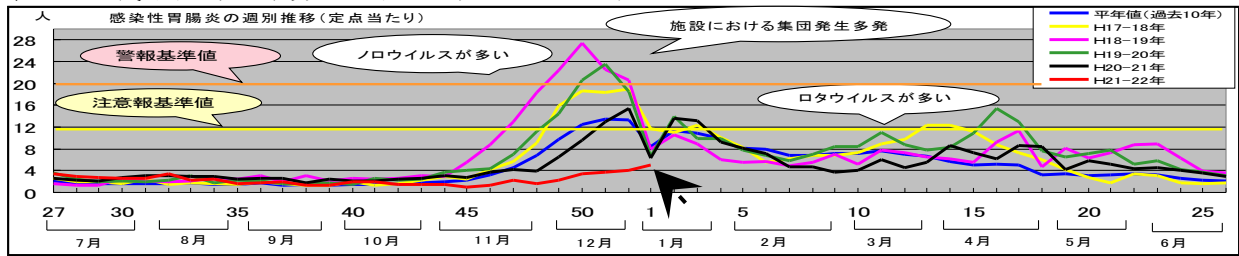
### インフルエンザ：今週16.19 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

中央東でやや増加，安芸で横ばいの報告となったが，そのほかの地域で減少し，総数はさらに減少した。特に高幡では前週の約4割に減少し，注意報値を下回った。年齢別の割合では前週に引き続き20歳代が最も多く，全体の29.3%を占めている。全国的にも減少傾向が続いているが，沖縄県では再び警報値を越す流行がみられている。児童・生徒の間での流行は納まりつつあるが，20歳代の割合が増加しており，その他の年代に移行することも考えられるので，今後も注意が必要である。



**感染性胃腸炎：今週5.10（注意報値：12.00 警報値：20.00）**

安芸を除く地域で増加し、前週の1.5倍に増加した。例年と比較すると緩やかな増加であるが、1月9日には中央東で集団感染が確認され、今後は急増することも考えられる。予防策としては、帰宅時や食事前等の十分な手洗い・うがいが重要である。



○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
41	ヘルパンギーナ	5ヵ月男	高幡	Enterovirus
41	手足口病	3歳女	高幡	Enterovirus
52	無菌性髄膜炎	5歳男	高知市	Rsvirus A型
53	感染性胃腸炎	1歳男	高知市	Norovirus G II
53	感染性胃腸炎	9ヵ月女	高知市	Norovirus G II
1	感染性胃腸炎	3歳男	高幡	Norovirus G II
1	百日咳	4歳女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
1	百日咳	4歳女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

インフルエンザ（Influenza virus AH1pdmのみ）が21件検出された。

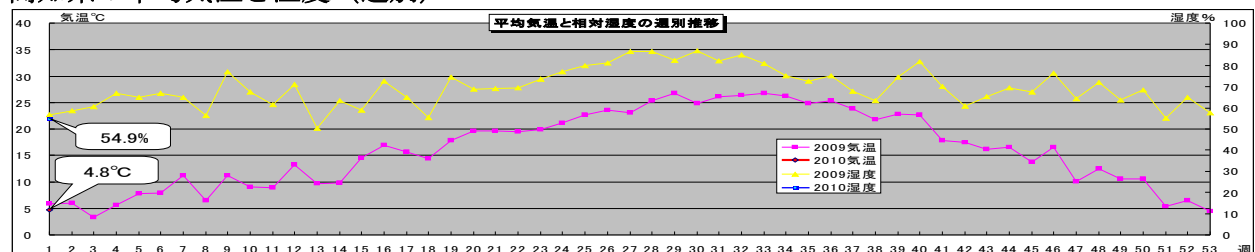
地域	年齢区分							総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	
高知市	1	2	0	0	1	0	0	4
高幡	5	7	1	1	1	0	2	17
総計	6	9	1	1	2	0	2	21

※（第52～1週採取分：第1週検査確認分）

○ **全数報告の感染症情報**

- 2009年分 2類感染症：結核 1例（76歳女）《中央西》（2009年165例）
- 2010年分 2類感染症：結核 1例（39歳男）《高知市》（今年1例）
- 4類感染症：つつが虫病 1例（53歳男）《中央東》（今年1例）
- 5類感染症：急性脳炎 1例（21歳女）《中央東》（今年1例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

**幡多：**

- 《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの22例は全てA型陽性
- 《渭南病院小児科》：アデノウイルス扁桃炎 1例（1歳男）
- 《木俣病院小児科》：インフルエンザの34例は全てA型陽性
- 《さたけ小児科》：インフルエンザの27例中20例はA型陽性，7例は臨床診断
- 《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの22は全てA型陽性
- 《松谷内科》：インフルエンザの8例中7例はA型陽性，1例はB型陽性，季節性ワクチン接種済み1例，新型・季節性ワクチン接種済み2例

**高幡：**

- 《もりはた小児科》：インフルエンザの11例は全てA型陽性，うち1例は新型ワクチン接種2回済みうち10例が5歳以下であった
- 《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの14中12例はA型陽性
- 《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの12例中11例はA型陽性，1例はB型陽性

## 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの32例は全てA型陽性，うち8例は予防接種1回済み

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの17例は全てA型陽性

感染性胃腸炎の1例（23歳男）は県外，2例（2歳男，33歳女）は高知市，1例（5ヵ月男）は四万十市，1例（1歳女）はいの町

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの30例は全てA型陽性

## 高知市：

《矢野小児科》：インフルエンザの22例中3例は予防接種歴あり

《福井小児科・内科》：インフルエンザの7例は全てA型陽性

《高知赤十字病院小児科》：インフルエンザの5例中4例はA型陽性

《三愛病院小児科》：インフルエンザの4例中1例（3歳男）はB型陽性

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの37例は全てA型陽性，うち8例は予防接種歴あり

《塩見クリニック》：インフルエンザの3例は全てA型陽性，うち1例は昨年にも罹患

《依岡内科》：インフルエンザの13例（5～55歳男女）のうち1例（19歳男）は12月にも新型に感染

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの2例はA型陽性，予防接種歴なし

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの39例中35例はA型陽性

《近森病院内科》：インフルエンザの84例中63例はA型陽性，1例はB型陽性，予防接種歴ありは18例，なしは20例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性，予防接種歴なし

## 中央東：

《高知大学医学部付属病院小児科》：インフルエンザの13例中4例はA型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの14例は全てA型陽性

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの2例はA型陽性，うち1例（3歳男）は新型・季節性ワクチン2回ずつ接種済み

《早明浦病院小児科》：感染性胃腸炎の1例（4ヵ月男）はロタ，アデノウイルスに感染

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの32例中31例はA型陽性，1例はB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの13例は全てA型陽性，予防接種歴なし

《野市中央病院内科》：インフルエンザの16例中14例はA型陽性，2例はAB型両方陽性

## 安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの17例中4例はA型陽性

《田野病院小児科》：インフルエンザの22例中21例はA型陽性，1例はB型陽性

## 全国情報第51週（12/14～12/20）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核297例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症18例（有症者13例、うちHUS 1例）、パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎2例、つつが虫病13例、デング熱1例、レジオネラ症9例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎（B型）1例、急性脳炎10例、クリプトスポリジウム症1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群11例（AIDS 2例、無症候8例、その他1例）、梅毒6例、破傷風2例、風しん2例、麻しん4例

報告遅れ：レプトスピラ症1例、急性脳炎11例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症10例、風しん1例

## ◆ インフルエンザ

2009年第51週のインフルエンザの定点当たり報告数は22.44（報告数108,071）と3週連続で減少した。都道府県別では福井県（43.22）、宮崎県（41.81）、福島県（38.99）、愛媛県（33.51）岐阜県（32.90）、長野県（31.72）、長崎県（31.00）、大分県（30.07）、鹿児島県（30.06）、山口県（29.66）の順となっている。定点当たり報告数は37県では20.00を上回り、9県で30.00を上回っているが、福島県、山梨県、沖縄県を除く44都道府県で前週よりも減少した。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると約107万人（暫定値）と3週連続で減少し、第28週以降これまでの累積の推計患者数（暫定値）は約1,653万人（95%信頼区間：1,634万人～1,672万人）（暫定値）となった。

性別では男性約859万人（51.9%）、女性約796万人（48.1%）であり、年齢群別では5～9歳約445万人（27.0%）、10～14歳約423万人（25.7%）、15～19歳約238万人（14.4%）、0～4歳約177万人（10.7%）、20～29歳約142万人（8.6%）、30～39歳約106万人（6.4%）の順となっている。

日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降第51週までに、全国の地方衛生研究所から21,914件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは20,863件

（95.20%）を占めている。また、第28週以降では、第51週までに19,669件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型（Aソ連型）18件（0.09%）、AH3亜型（A香港型）132件（0.67%）、B型6件

（0.03%）、AH1pdm（新型インフルエンザウイルス）19,513件（99.21%）とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される。定点からの報告数は、3週連続して減少がみられ、国内の大半の都道府県では減少傾向が続いている。今後の冬季休暇を含む週の報告数は、さらに減少していくものと予想される。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(53週)	高知県(1週末累計) H22/1/4~H22/1/10
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	45	102	336	112	37	145	777 ( 16.19)	922 ( 19.21)	48,128 ( 10.22)	777 ( 16.19)
	咽頭結膜熱					1		1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	262 ( 0.09)	1 ( 0.03)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	3	7	5	4	6	26 ( 0.87)	12 ( 0.40)	1,520 ( 0.51)	26 ( 0.87)
	感染性胃腸炎	14	23	63	28	10	15	153 ( 5.10)	104 ( 3.47)	13,093 ( 4.41)	153 ( 5.10)
	水痘	1	6	14		2	4	27 ( 0.90)	15 ( 0.50)	3,275 ( 1.10)	27 ( 0.90)
	手足口病			3				3 ( 0.10)	1 ( 0.03)	247 ( 0.08)	3 ( 0.10)
	伝染性紅斑			1				1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	91 ( 0.03)	1 ( 0.03)
	突発性発疹		1	3	1	1		6 ( 0.20)	4 ( 0.13)	842 ( 0.28)	6 ( 0.20)
	百日咳			1				1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	26 ( 0.01)	1 ( 0.03)
	ヘルパンギーナ			1				1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	60 ( 0.02)	1 ( 0.03)
	流行性耳下腺炎		1	1			3	5 ( 0.17)	5 ( 0.17)	1,354 ( 0.46)	5 ( 0.17)
	RSウイルス感染症	12	4	11				27 ( 0.90)	32 ( 1.07)	2,673 ( 0.90)	27 ( 0.90)
アフター性口内炎			1	1			2 ( 0.07)	3 ( 0.10)		2 ( 0.07)	
眼科	急性出血性結膜炎									7 ( 0.01)	
	流行性角結膜炎								1 ( 0.33)	102 ( 0.16)	
基幹	細菌性髄膜炎									8 ( 0.02)	
	無菌性髄膜炎									3 ( 0.01)	
	マイコプラズマ肺炎								2 ( 0.29)	72 ( 0.16)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1 ( 0.14)		4 ( 0.01)	1 ( 0.14)
計 (小児科定点当たり人数)	73 ( 25.25)	140 ( 14.70)	443 ( 30.64)	147 ( 34.07)	58 ( 19.75)	170 ( 23.13)	1,031 ( 24.62)				
前週 (小児科定点当たり人数)	67 ( 22.25)	122 ( 12.55)	494 ( 33.44)	129 ( 27.40)	97 ( 25.75)	196 ( 25.63)		1,105 ( 25.21)	71,767		1,031 ( 24.62)

定点当たり 第1週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週
			中央東	高知市	中央西				
内科・小児科	インフルエンザ	11.25	9.27	21.00	22.40	9.25	18.13	16.19	19.21
	咽頭結膜熱					0.50		0.03	0.03
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.43	0.64	1.67	2.00	1.20	0.87	0.40
	感染性胃腸炎	7.00	3.29	5.73	9.33	5.00	3.00	5.10	3.47
	水痘	0.50	0.86	1.27		1.00	0.80	0.90	0.50
	手足口病			0.27				0.10	0.03
	伝染性紅斑			0.09				0.03	0.03
	突発性発疹		0.14	0.27	0.33	0.50		0.20	0.13
	百日咳			0.09				0.03	0.03
	ヘルパンギーナ			0.09				0.03	0.03
	流行性耳下腺炎		0.14	0.09			1.50	0.17	0.17
	RSウイルス感染症	6.00	0.57	1.00				0.90	1.07
アフター性口内炎			0.09	0.33			0.07	0.10	
眼科	急性出血性結膜炎								
	流行性角結膜炎								0.33
基幹	細菌性髄膜炎								
	無菌性髄膜炎								
	マイコプラズマ肺炎								0.29
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.14	
計 (小児科定点当たり人数)	25.25	14.70	30.64	34.07	19.75	23.13	24.62		
前週 (小児科定点当たり人数)	22.25	12.55	33.44	27.40	25.75	25.63		25.21	

## 2010年週報推移(定点当たり)

